

		目 標		評 価 規 準				
○ なかよしあつまれ (3 時間)		○条件や観点に応じてものの集合を捉えることができる。A(1) ○2つの集合について、1対1対応によって数量の相等、大小を比べることができる。A(1)ア ○前後、左右、上下などの言葉を用いることができる。C(1)イ		関心・意欲・態度 ・数量や図形などに親しみをもっている。 【行】【発】	数学的な考え方 ・動植物の種類や位置、動作などの観点から仲間作りを考えている。 【発】【ノ】 支援：教室の中などでもいろいろな観点で集合を見つける活動をするなど、具体的に考えられるようにする。	技能 ・ものともを対応させることによって、ものの個数の相等や大小を比べることができる。 【行】【ノ】	知識・理解 ・2つの集合の相等や大小について理解している。 【行】【発】【ノ】	
時 数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
3	1 ~ 7	(どこがちがうかな)	①身のまわりの数量に対する関心を持ち、ある観点に応じてものの集合を捉えることができる。(1~5)	・2枚の絵の違いを探し、多い少ない、まるい、四角い、上下、左右などの語を用いて表現する。 ・教科書の場面絵を見て、場面をと捉え、お話を作る。 ・同じ動物、ものなどに着目して、集合を作る。(5までの数の集合作り) ・上下、左右など位置や方向を表す言葉を用いてお話を作る。	・2枚の絵の違いを探したり、いろいろな集合を見つけたりして、数量や図形、位置にかかわるお話を作ろうとしている。		・いろいろな集合を見つけたり、上下、左右などの言葉を正しく用いたりすることができる。	
		(なかまはどれ)	②身のまわりの数量に対する関心を持ち、ある観点に応じてものの集合を捉えることができる。(6~10)	・同じ動物、ものなどに着目して、集合を作る。(10までの数の集合作り) ・咲いているチューリップとつばみのチューリップを、別の集合と捉えたり、まとめて1つの集合と捉ええたりするなど、観点によって集合が変わることを知る。		・動植物の種類や位置、動作などの観点から仲間作りを考えている。	・種類や位置、動作などの違いを観点に加える場合と加えない場合など、いろいろな集合を作ることができる。	
		(たりるかな)	③対応の操作やおはじきなどに置きかえて個数を比較することができる。	・くまと風船を線でつないで数量の比較をする活動などとおして、2つの集合を1対1対応させ、数量の比較をするしかたを知る。 ・鳥と巣箱の数量の比較をする場面とおして、集合の要素をおはじきに置きかえて2つの集合を1対1対応させ、数量の比較をするしかたを知る。			・2つの集合の相等や大小を、線でつないだり、おはじきに置きかえたりして、1対1対応によって調べるることができる。	・2つの集合の相等や大小について理解している。

		目 標		評 価 規 準			
1 いくつか (9 時間)		○具体物をブロックなどの数のモデルと対応させ、同値な集合について理解する。A(1)ア ○10までの数詞を知り、10までの数量を確実に数えることができる。A(1)イ ○10までの数のよみ方、書き方を知り、数字は数量を表す記号であることを理解する。A(1)		関心・意欲・態度 ・具体物などのものの個数を正しく数えたり表したりしようとしている。 【行】【発】	数学的な考え方 ・ものの個数を数えたり比べたりすることをとおして、数のよみ方、表し方、大小について考えている。 【発】【ノ】	技能 ・10までの数について、正しく数えたりよんだり書いたり、数字で表された大きさをブロックなどで表したりすることができる。 【行】【ノ】【テ】 支援：日常生活や遊びの中でも、10までの数や0を意識的に用いるようにする。	知識・理解 ・10までの数の大きさを理解し、数え方、よみ方、書き方を理解している。 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準				
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解	
			○無の0（零）の意味を理解する。A(1)イ ○10までの数の大小を理解する。A(1)						
9	8 ～ 19	(0というかず) (かずのおおきさ) (がっこうをたんけんしよう！)	① 1～5の数の意味、数え方、よみ方を理解する。	・教科書の場面絵を用いて具体物の集合とブロックを対応させていくことをとおして、「くま」と「上着」のように数量の同じ集合に着目していく。 ・集合の大きさを「いち」～「ご」と言い、1～5と数字で表すことを知る。	・具体物などのものの個数を正しく数えたり表したりしようとしている。	・1～5の具体物の集合にブロックを対応させることをとおして、数量の同じ集合に着目している。		・1～5の数について、「いち」～「ご」と言い、「1」～「5」と数字で表すことを理解している。	
			②③ 1～5の数の数え方、よみ方、書き方を理解し、定着を図る。	・1～5の数の大きさを理解し、数字の書き方を知る。 ・具体物の数をブロックや数字で表す。 ・数字で表された大きさを絵などで表す。			・1～5の数について、数えたりよんだり書いたり、数字で表された大きさをブロックなどで表したりすることができる。	・1～5の数の大きさを理解し、数え方、よみ方、書き方を理解している。	
			④ 6～10の数の意味、数え方、よみ方を理解する。	・教科書の場面絵を用いて具体物の集合とブロックを対応させていくことをとおして、数量の同じ集合に着目していく。 ・集合の大きさを「ろく」～「じゅう」と言い、6～10と数字で表すことを知る。	・具体物などのものの個数を正しく数えたり表したりしようとしている。	・6～10の具体物の集合にブロックを対応させることをとおして、数量の同じ集合に着目している。		・6～10の数について、「ろく」～「じゅう」と言い、「6」～「10」と数字で表すことを理解している。	
			⑤⑥ 6～10の数の数え方、よみ方、書き方を理解し、定着を図る。	・6～10の数の大きさを理解し、数字の書き方を知る。 ・具体物の数や、聞こえた音の回数などを数字で表す。 ・数字で表された大きさをブロックなどで表す。			・6～10の数について、数えたりよんだり書いたり、数字で表された大きさをブロックなどで表したりすることができる。	・6～10の数の大きさを理解し、数え方、よみ方、書き方を理解している。	
			⑦ 0の意味、よみ方、書き方を理解する。	・いちごが1個ずつ減っていく様子を見て、ないことを「れい」と言い、0と書くことを知る。 ・輪投げをして1つも入らなかった状態が「0」であることを知る。		・無の0の意味を、量が1ずつ減少していく場合や、輪投げをして1つも入らない場合などをもとに考えている。		・無の0の意味を理解し、数え方、よみ方、書き方を理解している。	
			⑧ 10までの数の大小を理解する。	・数字カードを用いて数の大小の比較をする場面で、数の大きさをブロックに置きかえて考えることをとおして、10までの数の大小について知る。 ・「6は5より大きい数です」を「5は6より～」と言いかえる。		・10までの数の大小を、ブロックに置きかえて考えている。		・10までの数の大小を理解している。	
			⑨ 身のまわりから10以下の数のものを探することができる。	・学校の中から、1～10の数や集合を探す。	・進んで身のまわりのものを数えたり、個数を数を用いて表したりしようとしている。		・身のまわりから10以下の数のものを探したり、数を用いて表したりすることができる。		

2	なんばんめ (2時間)	目 標	評 価 規 準			
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
		○順序や位置を表すのに数を用いることを理解する。A(1)イ ○10までの数について、集合数と順序数を統合的に理解する。A(1)イ ○前後、左右、上下などの位置や方向を表す言葉を用いて、ものの位置を言い表すことができる。C(1)イ ○11、12のよみ方、順序、系列を理解する。A(1)ウ	・順序や位置を表すのに数を用いるよさに気づいている。 【行】【発】	・数を用いて順序や位置を表す方法や、集合数との違いを考えている。 【発】【ノ】	・前後、左右、上下などの言葉と数を用いて、ものの順序や位置を言い表すことができる。 【ノ】【テ】 支援：実際に子どもを並ばせるなど、具体的な場面で順序数を用いる練習をする。	・12までの数について集合数と順序数の意味の違いを理解している。 ・11、12の数の大きさを理解し、数え方、よみ方を理解している。 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
2	20 ～ 23		①順序や位置の表し方, 順序数と集合数の意味を理解する。	・かけっこの着順, 旗のマークの位置などについてお話をすることをおして, 1着, 2着, …, 上(下)から1番め, 2番め, …のように順序や位置を数で表す。 ・集合数(3匹)と順序数(3匹め)の違いを知る。	・順序や位置を表すのに数を用いるよさに気づいている。	・「いくつ」を表す集合数と, 「何番め」を表す順序数との違いを, 図などをもとに考えている。	・前後, 左右, 上下などの言葉と数を用いて, ものの順序や位置を言い表すことができる。	・集合数と順序数の意味の違いを理解している。
			②11, 12のよみ方や順序, 系列を理解し, 順序数と集合数の理解を深める。	・干支の動物の順序を調べることとおして, 11, 12のよみ方, 順序, 系列を理解する。 ・「前から4番め」「後ろから4人」などの指示に合わせて該当者が起立する。 ・順に並んだ数の空欄に数をあてはめることとおして, 12までの数の系列を考える。			・前後, 左右, 上下などの言葉と数を用いて, ものの順序や位置を言い表すことができる。	・11, 12の数の大きさを理解し, 数え方, よみ方を理解している。

		目 標	評 価 規 準			
3	いまなんじ (1時間)	○日常生活の中で時計を見て, 何時, 何時半をよむことができる。B(2)	関心・意欲・態度 ・日常生活の中で時刻に関心を持ち, 進んで用いようとしている。 【行】【発】	数学的な考え方 ・時計の長針, 短針を見て, 時刻のよみ方を考えている。 【行】【発】 支援: 模型時計を動かしながら考えられるようにする。	技能 ・時計の長針, 短針を見て, 時刻(何時, 何時半)をよむことができる。 【行】【テ】	知識・理解 ・時計の長針, 短針の役割について理解している。 【発】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
1	24 ～ 25		①時刻のよみ方を理解する。(何時, 何時半)	・生活に関連させて, 時計のよみ方を練習する。	・日常生活の中で時刻に関心を持ち, 進んで用いようとしている。	・時計の長針, 短針を見て, 時刻のよみ方を考えている。	・時計の長針, 短針を見て, 時刻(何時, 何時半)をよむことができる。	・時計の長針, 短針の役割について理解している。

		ねらい	学習活動	評 価 規 準			
☆	さんすうむかしばなし (1時間) p. 26	○物語の中にも, 算数で学習した内容が見つげられることに気づく。	・昔話の場面絵を見て, 数や順序など算数の学習内容を見つけて発表する。	関心・意欲・態度 ・場面絵を見て, 進んで個数や順序, 位置を数を用いて表そうとしている。 【行】【発】	数学的な考え方	技能	知識・理解

		目 標	評 価 規 準			
4	いくつといくつ (7時間)	○10までの数について, 1つの数をほかの数の和や差とみるなど, ほかの数と関係づけてみることができる。A(1)エ ○10までの数の合成・分解ができる。A(1)エ	関心・意欲・態度 ・10までの数を合成・分解する活動に進んで取り組もうとしている。 【行】【発】	数学的な考え方 ・10までの数がいくつといくつに分けられるかを, ブロックや図などを用いて考えている。 【行】【発】【ノ】 支援: 数をいくつといくつで表す例を示し, それをもとに考えることができるようにする。	技能 ・10までの数をほかの数の和や差としてみることができる。 【ノ】【テ】 支援: ゲーム化して扱うなど, 継続して練習ができるようにする。	知識・理解 ・10までの数をほかの数の和や差としてみるなど, 数の構成についての豊かな感覚をもっている。 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
7	27 ～ 35		① 5の合成・分解を理解する。	・袋から赤と青のおはじきを取り出す活動をとおして、5の合成・分解をする。	・10までの数を合成・分解する活動に進んで取り組もうとしている。	・5がいくつといくつでできたり、いくつといくつに分けられたりするかを、おはじきを用いて考えている。		・5の合成・分解を理解している。
			② 6の合成・分解を理解する。	・6個のおはじきを両手に分けて持ち、右手だけ開いて左手にいくつあるかを当てるゲームをとおして、6の合成・分解をする。		・6がいくつといくつでできたり、いくつといくつに分けられたりするかを、おはじきを用いて考えている。		・6の合成・分解を理解している。
			③ 7の合成・分解を理解する。	・2つのさいころの目の和を7にするゲームをとおして、7の合成・分解をする。		・7がいくつといくつでできたり、いくつといくつに分けられたりするかを、さいころを用いて考えている。		・7の合成・分解を理解している。
			④ 8の合成・分解を理解する。	・数図カードを用いたゲームをとおして、8の合成・分解を考える。		・8がいくつといくつでできたり、いくつといくつに分けられたりするかを、数図カードを用いて考えている。		・8の合成・分解を理解している。
			⑤ 9の合成・分解を理解する。	・数字カードを用いたゲームをとおして、9の合成・分解を考える。		・9がいくつといくつでできたり、いくつといくつに分けられたりするかを、数字カードを用いて考えている。		・9の合成・分解を理解している。
			⑥ 10の合成・分解を理解する。	・ブロックと数字カードを対応させながら、10の合成・分解を考える。 ・ブロックを用いて、10の合成・分解を順序よくまとめる。 ・10を分解した数を順序よく並べたときの数の並び方のきまりに着目する。		・10がいくつといくつでできたり、いくつといくつに分けられたりするかを、ブロックを順序よく並べて考え、数の並び方のきまりを見いだしている。		・10の合成・分解を理解している。
			⑦ 10までの数の合成・分解に習熟する。 [10であそぼう] ・2つの数で10を作るカードゲームをする。	・書かれた数字のうち、合わせて10になる組み合わせを見つけて囲む活動をとおして、10の合成・分解をする。			・10までの数をほかの数の和や差としてみることができる。	・10までの数をほかの数の和や差としてみるなど、数の構成についての豊かな感覚をもっている。
—	36	たしかめもんだい①	・「いくつかな」の問題					
—	37	たしかめもんだい②	・「なんばんめ」「いまなんじ」の問題 [「なんばんめ」をいいかえよう] ・順序や位置を声に出して言ったり、言いかえたりする活動に取り組む。					
—	38	たしかめもんだい③	・「いくつといくつ」の問題 [「いくつといくつ」をいいかえよう] ・10までの数の合成・分解を声に出して言ったり、言いかえたりする活動に取り組む。					

5	ぜんぶでいくつ (9時間)	目 標	評 価 規 準			
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
		○お話作りなどの活動をとおして、加法の用いられる場合(増加・合併)について理解する。A(2)ア ○加法の場面を式で表したり、式をよんだりすることができる。D(1) ○1位数+1位数で繰り上がりのない加法計算が確実にできる。A(2)イ ○0の加法の意味を理解する。A(2)ア	・生活の中から加法の場面を見つけたら、加法計算のしかたを考えたりしようとしている。 【行】【発】	・加法計算のしかたを、ブロックや言葉、数、式、図を用いて考えている。 【行】【発】【ノ】 支援：別の簡単な数値でブロックを用いた説明をして、それをもとに考えられるようにする。	・加法が用いられる場面を式に表すことができる。また、1位数+1位数で繰り上がりのない加法計算が確実にできる。 【ノ】【テ】	・増加や合併の場面で加法が用いられる場合を知り、加法の意味や式について理解している。 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
9	39 ～ 49	(ふえるといくつ)	①②加法の意味, 加法の式について理解する。(増加)	・「子どもが4人います。1人来ました。全部で5人になりました。」とお話を作ることをとおして, 加法(増加)の意味を知る。 ・「金魚が初めに3匹いて, 2匹増えると5匹になる」という増加の場面を, 式で $3+2=5$ と表すことを知る。 ・「たしざん」の用語を知る。	・場面絵を見て, 数を用いたお話作りを進んで取り組もうとしている。	・加法(増加)の場面を, ブロックなどを用いて考えたり, 図に表したりしている。		・加法が用いられる場合(増加)や加法の意味, 「+」「=」の記号の意味や加法の式の表し方, 「たしざん」の用語を理解している。
		(あわせていくつ)	③和が10以下の加法ができる。(増加)	・和が10以下の加法計算と, 増加の文章題を解く。			・増加の場面を+や=の記号を用いて式に表すことができる。また, 1位数+1位数で繰り上がりのない加法計算ができる。	
		(けいさんれんしゅうをしよう!)	④加法の意味を理解する。(合併)	・「5匹と3匹の金魚を合わせると8匹になる」という合併の場面を, 式で $5+3=8$ と表すことを知る。		・加法(合併)の場面を, ブロックなどを用いて考えたり, 図に表したりしている。		・加法が用いられる場合(合併)や, 加法の式の表し方を理解している。
			⑤⑥加法の場面をブロックや図で表現し, 加法の意味の理解を深める。和が10以下の加法計算ができる。	・加法の式を, ブロックや図で表す。 ・和が10以下の加法計算と, 増加・合併の文章題を解く。	・加法計算のしかたを考えようとしている。	・増加や合併の場面を, ブロックや言葉, 数, 式, 図を用いて表現している。	・1位数+1位数で繰り上がりのない加法計算ができる。	
			⑦0の加法を理解する。	・玉入れの得点を表す場面をとおして, 0の加法の意味を知る。		・0を含む加法の意味を具体的な場面をとおして考えている。		・0を含む加法の意味を理解している。
			⑧和が10以下の加法計算に習熟する。	・計算カードを用いて, 加法の計算練習をする。			・1位数+1位数で繰り上がりのない加法計算が確実にできる。	
		⑨同じ答えの加法の式を見つけて順序よく並べることとおして, 被加数や加数の変化のきまりに着目することができる。	・同じ答えの加法のカードを順序よく並べる。		・同じ答えの加法の式の並べ方を, 被加数と加数の変化のきまりに着目して工夫している。		・同じ答えの加法の式で, 被加数と加数の変化のきまりに気づくなど, 数についての豊かな感覚をもっている。	
—	50 ～ 51	たしかめもんだい④	・「ぜんぶでいくつ」の問題 [たしざんえほんをつくろう] ・加法の場面の絵本作りをとおして, 加法の意味の理解を深める。					

	ねらい	学習活動	評価規準			
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
☆ たしざんをつくろう (1時間) p. 52	○和が10以下の加法を表現する。	・1～9までのゼッケンを使って, 指示の答えになる加法を作る。	・ゼッケンを使った加法計算の活動に進んで取り組もうとしている。 【行】【発】		・自分のゼッケンの数字をもとに, 指示された答えに対する補数を見つけることができる。 【行】	

	目 標	評価規準			
		関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
6 のこりはいくつ (7時間)	○お話作りなどの活動をとおして, 減法の用いられる場合(求残・求補)について理解する。A(2)ア ○減法の場面を式で表したり, 式をよんだりすることができる。D(1) ○1位数-1位数の減法計算が確実にできる。A(2)イ ○0の減法の意味を理解する。A(2)ア	・生活の中から減法の場面を見つけたり, 減法計算のしかたを考えたりしようとしている。 【行】【発】	・減法計算のしかたを, ブロックや言葉, 数, 式, 図を用いて考えている。 【行】【発】【ノ】 支援: 別の簡単な数値でブロックを用いた説明をして, それをもとに考えられるようにする。	・減法が用いられる場面を式に表すことができる。また, 10以下の数から1位数をひく減法計算が確実にできる。 【ノ】【テ】	・求残の場面や減法が用いられる場合を知り, 減法の意味や式について理解している。 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
7	53 ～ 61	(けいさんれんしゅうをしよう！)	①②減法の意味, 減法の式について理解する。(求残)	・「子どもが3人います。2人帰りました。残りは1人になりました。」とお話を作ることとおして, 減法(求残)の意味を知る。 ・「金魚が初めに5匹いて, 3匹取ると2匹になる」という求残の場面を, 式で $5 - 3 = 2$ と表すことを知る。 ・「ひきざん」の用語を知る。	・場面絵を見て, 数を用いたお話作りを進んで取り組もうとしている。	・減法(求残)の場面を, ブロックなどを用いて考えたり, 図に表したりしている。		・減法が用いられる場合(求残)や減法の意味, 「-」「=」の記号の意味や減法の式の表し方, 「ひきざん」の用語を理解している。
			③減法の場面をブロックや図で表現し, 減法の意味の理解を深める。 10以下の数から1位数をひく減法計算ができる。	・減法の式を, ブロックや図で表す。 ・10以下の数から1位数をひく減法計算と, 求残の文章題を解く。	・減法計算のしかたを考えようとしている。	・求残の場面を, ブロックや言葉, 数, 式, 図を用いて表現している。	・10以下の数から1位数をひく減法計算ができる。	
			④減法(求補)の意味, 異種の量の減法を理解する。	・9人のうち3人が大人のときの子どもの人数を求めることとおして, 求補の場面について知り, 減法の式で表す。 ・9個の風船を6人の子どもに配るときの残りの数を求めることとおして, 異種の量の減法の場面について知り, 減法の式で表す。		・減法(求補, 異種の量の求残)の場面を, ブロックなどを用いて考えたり, 図に表したりしている。		・減法が用いられる場合(求補, 異種の量の求残)や, 減法の式の表し方を理解している。
			⑤0の減法を理解する。	・いちごの数の変化をとおして, 0を含む減法の意味を知る。		・0を含む減法の意味を具体的な場面をとおして考えている。		・0を含む減法の意味を理解している。
			⑥10以下の数から1位数をひく減法計算に習熟する。	・計算カードを用いて, 減法の計算練習をする。			・10以下の数から1位数をひく減法計算が確実にできる。	
	62 ～ 63	たしかめもんだい⑤	・「のこりはいくつ」の問題 [ひきざんえほんをつくらう] ・減法の場面の絵本作りをとおして, 減法の意味理解を深める。				・同じ答えの減法の式で, 被減数と減数の変化のきまりに着目して工夫している。	

		目 標		評 価 規 準				
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
					7	どれだけおおい (3時間)	○減法の用いられる場合(求差)について理解し, 式で表したり, 式をよんだりすることができる。A(2)アイ	・求差の場面について, 計算のしかたを考えようとしている。 【行】【発】
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
					3	64 ～ 66	①減法の意味を理解する。(求差)	・りんごあめはぶどうあめより何個多いかを求めることとおして, 求差の場面(AはBよりいくつ多い)について知り, 減法の式で表す。
			②減法の意味を理解する。(求差)	・バスとタクシーはどちらが何台多いかを求めることとおして, 求差の場面(どちらがいくつ多い)について知り, 減法の式で表す。		・減法(求差)の場面を, ブロックなどを用いて考えたり, 図に表したりしている。(どちらがいくつ多い)	・求差が用いられる場面を式に表すことができる。	

		(ちがいはいくつ)	③減法の意味を理解する。 (求差, 異種の量の減法)	・いすと子どもの数の違いを求めることをとおして, 求差の場面(ちがいはいくつ)について知り, 減法の式で表す。		・減法(求差)の場面を, ブロックなどを用いて考えたり, 図に表したりしている。(ちがいはいくつ)	・求差が用いられる場面を式に表すことができる。	
—	67	たしかめもんだい⑥	・「どれだけおい」の問題					

		目 標		評 価 規 準				
8 かずをせいりして (2時間)		○ものの個数を絵や図などを用いて整理して表したり, よみ取ったりすることができる。D(2)		関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解	
				・具体物の個数を進んで絵や図に整理して表したり, 表したものをよみ取ったりしようとしている。 【行】【発】	・同じ種類の絵や図などを集め, 個数の大小がわかりやすくなるような表し方を考えている。 【行】【ノ】 支援: 具体物の絵のかかれたカードを操作しながら考えられるようにする。	・ものの個数を絵や図などを用いて表したり, よみ取ったりすることができる。 【ノ】【テ】	・ものの個数を絵や図などを用いて整理して表すと, 個数の大小がわかりやすくなることを理解している。 【ノ】【テ】	
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
2	68 ゝ 69		①②個数を絵や図などで表したり, よみ取ったりすることができる。(絵グラフ)	・何種類かの野菜の数を絵や図などを用いて整理して表したり, よみ取ったりする。	・具体物の個数を進んで絵や図に整理して表したり, 表したものをよみ取ったりしようとしている。	・絵グラフに表す際に, わかりやすくなるようにそろえて並べるなど, 表し方を工夫している。	・ものの個数を絵や図などを用いて整理して表したり, 表したのから数の大小をよみ取ったりすることができる。	・ものの個数を絵や図などを用いて整理して表すと, 個数の大小がわかりやすくなることを理解している。

		目 標		評 価 規 準				
9 10より大きいかず (9時間)		○身近なものの数を数える活動をおして, 10のまとまりと端数がいくつと表すことができることに気づき, 20までの数を数えることができる。A(1)オ ○20台, 30台までの数の数え方, よみ方, 表し方を理解する。A(1)オ ○20までの数の大小, 順序, 系列を理解する。A(1)ウ ○数構成をもとに簡単な10より大きい数の計算ができる。A(2)ウ		関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解	
				・具体物などのものの個数を正しく数えたり表したりしようとしている。 【行】【発】	・10のまとまりと端数という数の表し方を考えている。 【行】【発】【ノ】 支援: 実際に具体物を10個ずつ袋や箱に入れながら数える活動をおして, 10のまとまりを作ると数がわかりやすい, 見やすいことが感じられるようにする。 ・数の構成をもとに, 簡単な10より大きい数の加法, 減法の計算のしかたを考えている。 【発】【ノ】	・30台までの数について, ものの個数や順番を正しく数えたり表したりすることができる。また, 数の大小や順序を考えることによって, 数の系列を作ったり, 数直線の上に表したりすることができる。 【ノ】【テ】	・30台までの数について, 数え方, よみ方, 表し方を理解し, 数の大きさや構成についての豊かな感覚をもっている。 【発】【ノ】【テ】	
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
7	70 ゝ 78		①②20以下の数の数え方, よみ方, 表し方を理解する。	・あさがおやにがうりの数を数えることをとおして, 10個とばらで数えられることに気づく。 ・10と3で「十三」と言い, 13と書くことを知る。 ・とんぼの数を数えることをとおして, 10が2個で「二十」と言うことを知り, 11~20の数のよみ方, 書き方を知る。	・具体物の個数を進んで数えたりよんだり表したりしようとしている。	・20までの数の数え方を, ブロックなどを用いて, 10のまとまりと端数の個数がいくつというように工夫している。		・20までの数について, 数え方, よみ方, 表し方を理解している。
			③20以下の数の構成を理解する。	・20までの具体物を数える。 ・20までの数を10といくつで合成・分解する。			・20までの数について, 数えたりよんだり表したりすることができる。	・20までの数を10といくつに合成・分解することをとおして, 数の構成を理解している。
			④2ずつ, 5ずつまとめて数えることを理解する。	・マグカップやボックスティッシュの数を数えることをとおして, 2とびや5とびで数えるしかたを知る。			・具体物をいくつかずつまとめて数えることができる。	・20までの数について, 2とびや5とびで数えるしかたを理解している。

			⑤20以下の数の大小を理解する。 20以下の数を数直線の上に表し、数の線(数直線)について理解する。	・20までの数の大小比較をする。 ・かえるやうさぎなどの進んだ位置を考えることをとおして、数の線(数直線)について知る。			・数直線の上に数を表すことができる。	・20までの数について、大小、系列を理解している。 ・数の線(数直線)の意味を理解している。
		(20より大きいかず)	⑥順序数と集合数の違い、数の系列を理解する。	・20までの数で順序数と集合数の違いを考える。 ・20までの数の系列を考える。 ・「17は15より2大きい数です」を「15は17より～」と言いかえる。				・20までの数について、集合数と順序数の意味の違いや系列を理解している。
			⑦20台、30台の数の数え方、よみ方、表し方を理解する。	・どんぐりやノートの数を数えることをとおして、20台、30台のものの数の数え方、よみ方、書き方を知る。		・20台、30台の数の数え方を、10のまとまりの個数と端数の個数がいくつというように工夫している。		・20台、30台の数について、数え方、よみ方、表し方を理解している。
2	79 ゝ 80	たしざんとひきざん	⑧十＋1位数の加法計算とその逆の減法計算ができる。	・10＋3、13－3のような、10＋1位数の加法計算とその逆の減法計算のしかたを、数の構成をもとに考える。		・十＋1位数の加法計算とその逆の減法計算のしかたを、数の構成をもとにブロックなどを用いて考えている。		
			⑨繰り上がり、繰り下がりのない、十何＋1位数の加法計算とその逆の減法計算ができる。 [10をひくひきざん]* ・17－10の答えの求め方を考える。	・15＋2、18－3のような、十何＋1位数の加法計算とその逆の減法計算のしかたを、数の構成をもとに考える。		・十何＋1位数で繰り上がりのない加法計算とその逆の減法計算のしかたを、数の構成をもとにブロックなどを用いて考えている。		
—	81	たしかめもんだい⑦	・「かずをせいりして」「10より大きいかず」の問題					

		目 標		評 価 規 準				
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
					毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
10		かたちあそび (5時間)	○身近な立体を使った形遊びの活動をとおして、立体図形の特徴を捉えるなど、図形についての基礎的な経験をする。C(1)ア ○立体図形の面の形に着目する。C(1)ア		関心・意欲・態度 ・身のまわりにあるものの形について、観察したり触れたり、構成・分解したりしようとしている。 ・身のまわりから箱の形や筒の形、ボールの形をしたものなどを見つけてようとしている。 【行】【発】	数学的な考え方 ・身のまわりにあるものの形を比較して、色、大きさ、位置や材質に関係なく形を認め、形の特徴を捉えたり、立体の面の形に着目して、まる、さんかく、しかくなどを見いだしたりしている。 【行】【発】 支援：実際に分類して見せ、どんな特徴で分類した仲間であるか考えられるようにする。	技能 ・積み木や箱などを用いて、いろいろなものの形を作ることができる。 【行】【ノ】	知識・理解 ・身のまわりにあるものの形の特徴や形の機能的な特徴を捉えるなど、図形についての豊かな感覚をもっている。 【行】【発】【テ】 支援：形の特徴を捉えている子どもの発言やつぶやきをほかの子どもにも伝えるようにする。
5	82 ゝ 86	(まちをつくろう！)	① ②身近な立体の観察、構成をし、形の特徴を捉えることができる。	・身のまわりの箱を用いて、ビルや自動車などいろいろな形を作り、説明する活動をとおして、立体図形の特徴を知る。	・身のまわりからいろいろな形を見つけ、観察したり触れたり、構成・分解したりしようとしている。		・いろいろなものの形を作ることができる。	・立体の機能的な特徴を理解している。
			③立体の形の特徴に気づき、分類をすることができる。	・立体の形に着目し、箱の形、さいころの形、筒の形、ボールの形に仲間分けをする。		・身のまわりにあるものの形を比較して、色、大きさ、位置や材質に関係なく形を認め、形の特徴を捉えて仲間分けしている。		
			④立体の面の形に着目し、面の形を使って形を構成できる。	・色紙を面の形に合わせて切り取り、仲間分けをする。 ・面の形を切り取った色紙を使っていろいろな形を構成する。	・面の形を切り取った色紙を用いていろいろなものの形を構成し、絵を作ろうとしている。	・身のまわりにあるものの形の面に着目して、まる、さんかく、しかくなどを見だし仲間分けしている。		・身のまわりのものの形について、面を写し取る活動をとおして、図形についての理解の基礎となる経験を豊かにしている。
			⑤身近な立体の形の特徴を捉え、感覚を豊かにする。	・形を触って、その特徴からどんな形かを当てる活動をする。		・身のまわりにあるものの形に触れて、色、大きさ、位置や材質に関係なく形を認め、形の特徴を捉えている。		・身のまわりにあるものの形の特徴や機能的な特徴を捉えるなど、図形についての豊かな感覚をもっている。

—	87	たしかめもんだい⑧	<p>・「かたちあそび」の問題</p> <p>[かげでわかるかな]*</p> <p>・映し出された立体の影から、形を当てる活動に取り組む。</p>
---	----	-----------	---

		ねらい	学習活動	評価規準			
				関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
☆	こうていでさんすう (1時間) p. 88~89	○加法、減法の演算決定をして、文章題を解くことができる。	・校庭の場面絵をもとに、加法、減法の問題を解いたり、問題を作ったりする。	<p>・生活の中には加法、減法が用いられる場面が数多くあることに気づき、加法、減法を進んで用いている。 【行】【発】</p>	<p>・種類や動作などの観点や条件を決めて集合を作り、加法、減法が用いられる問題を考え、表現している。 【発】【ノ】</p>		<p>・合併や増加、求残や求差など、加法、減法の意味について理解している。 【発】【ノ】</p>

		目 標	評価規準			
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
11	3つのかずのたしざん、ひきざん (3時間)	<p>○3口の数の加法、減法および加減混合の計算を1つの式にまとめて表したり、これをよんだりすることができる。A(2)ア、D(1)</p> <p>○3口の数の加法、減法および加減混合の計算のしかたを理解する。A(2)イ</p>	<p>・3口の加法、減法および加減混合の場面を式に表すよさに気づいている。 【行】【発】</p>	<p>・3口の加法、減法および加減混合の場面について、ブロックや図などを用いて考え、式に表したり計算のしかたを考えたりしている。 【行】【発】【ノ】 支援：場面を2段階に分けて確かめ、意味や計算のしかたを考えられるようにする。</p>	<p>・3口の加法、減法および加減混合の場面を式に表して計算したり、式をよみ取ったりすることができる。 【行】【ノ】【テ】</p>	<p>・3口の加法、減法および加減混合の場面の意味について理解している。 【発】【ノ】【テ】</p>

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
3	90 ~ 93		①3口の数の加法計算ができる。	・ねずみがトロッコに乗る場面絵を見て、場面を3口の加法の式に表すしかたや、その計算のしかたを考える。	・3口の加法の式に表すよさに気づいている。	・3口の加法の場面や計算のしかたを、ブロックや図などを用いて考えている。		・3口の加法が用いられる場合を理解している。
			②3口の数の減法計算ができる。	・りすがエレベーターから降りる場面絵を見て、場面を3口の減法の式に表すしかたや、その計算のしかたを考える。		・3口の減法の場面や計算のしかたを、ブロックや図などを用いて考えている。		・3口の減法が用いられる場合を理解している。
			③3口の数の加減混合算ができる。	・くるみの数の場面絵を見て、場面を3口の加減混合の式に表すしかたや、その計算のしかたを考える。		・3口の加減混合の場面や計算のしかたを、ブロックや図などを用いて考えている。	・3口の加減混合の場面を式に表して計算したり、式をよみ取ったりすることができる。	・3口の加減混合の計算が用いられる場合を理解している。
—	94	たしかめもんだい⑨	・「3つのかずのたしざん、ひきざん」の問題					

		目 標	評価規準			
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
12	たしざん (10時間)	<p>○1位数+1位数で繰り上がりのある加法計算のしかたを理解する。A(2)イ</p> <p>○繰り上がりのある1位数と1位数の加法計算が確実にでき、用いることができる。A(2)イ</p>	<p>・繰り上がりのある加法計算のしかたを考えようとしている。 【行】【発】</p>	<p>・1位数+1位数で繰り上がりのある加法計算のしかたを、ブロックや言葉、数、式、図を用いて考えている。 【行】【発】【ノ】 支援：ブロックが10個入る箱とブロックを用いて、具体的な活動をさせながら考えられるようにする。</p>	<p>・1位数+1位数で繰り上がりのある加法計算が確実にできる。 【ノ】【テ】</p>	<p>・繰り上がりのある加法の意味や計算のしかたを理解している。 【発】【ノ】【テ】</p>

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
10	95 ～ 104	(けいさんれんしゅうをしよう！)	①加法の作問をして、既習の計算とそうでない計算があることに気づく。	・牧場の場面絵を見て加法の問題を作り、既習の計算の式や答えの求め方を振り返ったり、まだ勉強していない計算はどれかを考えたりする。	・場面絵を見て、加法の問題を作ったり、既習の計算を振り返ったりしようとしている。	・加法の作問をして、既習の繰り上がりのない加法で解決できる問題と、そうでない問題があることを見いだしている。		
			②③1位数+1位数で繰り上がりのある加法計算のしかたを理解する。(加数分解) [9+3のけいさん] ・ノートには計算や答えだけではなく、図や考え方も書いておくとよいことに気づく。	・9+3のような、1位数+1位数で繰り上がりのある加法計算のしかたを加数分解で考える。 ・繰り上がりのある加法の計算練習をする。	・繰り上がりのある加法計算のしかたを考えようとしている。	・繰り上がりのある加法計算(加数分解)のしかたについて、10のまとまりを作り、10とあといくつとして求められることを、ブロックや言葉、数、式、図を用いて考えている。		・繰り上がりのある加法の意味や計算のしかたを理解している。
			④⑤1位数+1位数で繰り上がりのある加法計算のしかたを理解する。(被加数分解)	・7+9の計算のしかたを、加数分解、被加数分解で考え、説明する。 ・繰り上がりのある加法の計算練習をする。		・繰り上がりのある加法計算(加数分解、被加数分解)のしかたについて、10のまとまりを作り、10とあといくつとして求められることを、ブロックや言葉、数、式、図を用いて考えている。	・1位数+1位数で繰り上がりのある加法計算ができる。	
			⑥1位数+1位数で繰り上がりのある加法計算ができる。	・繰り上がりのある加法の文章題を解いたり、問題を作ったりする。			・1位数+1位数で繰り上がりのある加法計算ができる。	
			⑦⑧1位数+1位数で繰り上がりのある加法計算に習熟する。	・計算カードを用いて加法の計算練習をする。			・1位数+1位数で繰り上がりのある加法計算が確実にできる。	
			⑨⑩同じ答えの加法の式を見つけて順序よく並べることとおして、被加数や加数の変化のきまりに着目することができる。	・同じ答えの加法のカードを順序よく並べながら、きまりに着目して、ほかにも同じ答えになる加法の式を見つける。		・被加数と加数の変化のきまりに着目して、答えが同じ加法の式の見つけ方を工夫している。		・同じ答えの加法の式で、被加数と加数の変化のきまりに気づくなど、数についての豊かな感覚をもっている。
—	105 ～ 106	たしかめもんだい⑩	・「たしざん」の問題 [なにが出てくるかな] ・繰り上がりのある加法計算の練習に取り組む。					

		目 標		評 価 規 準				
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
13	ひきざん (10時間)		○十何-1位数で繰り下がりのある減法計算のしかたを理解する。A(2)イ ○十何-1位数で繰り下がりのある減法計算が確実にでき、用いることができる。A(2)イ		・繰り下がりのある減法計算のしかたを考えようとしている。 【行】【発】	・十何-1位数で繰り下がりのある減法計算のしかたを、ブロックや言葉、数、式、図を用いて考えている。 【行】【発】【ノ】 支援:ブロックが10個入る箱とブロックを用いて、具体的な活動をさせながら考えられるようにする。	・十何-1位数で繰り下がりのある減法計算が確実にできる。 【ノ】【テ】	・繰り下がりのある減法の意味や計算のしかたを理解している。 【発】【ノ】【テ】
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
10	107 ～ 116		①減法の作問をして、既習の計算とそうでない計算があることに気づく。	・牧場の場面絵を見て減法の問題を作り、既習の計算の式や答えの求め方を振り返ったり、まだ勉強していない計算はどれかを考えたりする。	・場面絵を見て、減法の問題を作ったり、既習の計算を振り返ったりしようとしている。	・減法の作問をして、既習の繰り下がりのない減法で解決できる問題と、そうでない問題があることを見いだしている。		

			②③十何－1位数で繰り下がりのある減法計算のしかたを理解する。(減加法) [12－9のけいさん] ・ノートには計算や答えだけではなく、図や考え方も書いておくとよいことに気づく。	・12－9のような、十何－1位数で繰り下がりのある減法計算のしかたを減加法で考える。 ・繰り下がりのある減法の計算練習をする。	・繰り下がりのある減法計算のしかたを考えようとしている。	・繰り下がりのある減法計算のしかたについて、10のまとまりから取っていく方法(減加法)によって求められることを、ブロックや言葉、数、式、図を用いて考えている。		・繰り下がりのある減法の意味や計算のしかたを理解している。
			④⑤十何－1位数で繰り下がりのある減法計算のしかたを理解する。(減減法)	・12－3の計算のしかたを、減加法、減減法で考え、説明する。 ・繰り下がりのある減法の計算練習をする。		・繰り下がりのある減法計算のしかたについて、10のまとまりから取っていく方法(減加法)や、端数から取っていく方法(減減法)によって求められることを、ブロックや言葉、数、式、図を用いて考えている。	・十何－1位数で繰り下がりのある減法計算ができる。	
			⑥十何－1位数で繰り下がりのある減法計算ができる。	・繰り下がりのある減法の文章題を解いたり、問題を作ったりする。			・十何－1位数で繰り下がりのある減法計算ができる。	
		(けいさんれんしゅうをしよう！)	⑦⑧十何－1位数で繰り下がりのある減法計算に習熟する。	・計算カードを用いて減法の計算練習をする。			・十何－1位数で繰り下がりのある減法計算が確実にできる。	
			⑨⑩同じ答えの減法の式を見つけて順序よく並べることとおして、被減数や減数の変化のきまりに着目することができる。	・同じ答えの減法のカードを順序よく並べながら、きまりに着目して、ほかにも同じ答えになる減法の式を見つける。		・被減数と減数の変化のきまりに着目して、答えが同じ減法の式の見つけ方を工夫している。		・同じ答えの減法の式で、被減数と減数の変化のきまりに気づくなど、数についての豊かな感覚をもっている。
—	117 く 118	たしかめもんだい⑪	・「ひきざん」の問題 [なにが出てくるかな] ・繰り下がりのある減法計算の練習に取り組む。					

		目 標			評 価 規 準			
14	くらべかた (8時間)	○直接比較や間接比較によって長さ、かさ、広さを比べることができる。B(1)ア ○身のまわりにあるものの長さ、かさ、広さを単位として、そのいくつかで大きさを比べることができる。B(1)イ	関心・意欲・態度 ・身のまわりにあるものの長さ、かさ、広さに関心をもち、大きさを比較したり、わかりやすい方法で表そうとしていたりしている。 【行】【発】	数学的な考え方 ・身のまわりにあるものの長さ、かさ、広さについて間接的に比べたり、ある大きさを単位としてそのいくつかで数値化したりするなど、比べ方を考えている。 【行】【発】 支援：長さ、かさ、広さを比べたことのある経験を思い起こさせたり、身近にあるもののいくつかで大きさを比べるしかたを例示したりして、それをもとに考えられるようにする。	技能 ・ものの長さ、かさ、広さについて、直接比べる方法、間接的に比べる方法、ある大きさを単位としてそのいくつかで数値化する方法で、比べることができる。 【行】【テ】 支援：実際に長さ、かさ、広さを比べる経験を多くできるようにする。	知識・理解 ・長さ、かさ、広さの量の意味や、ある大きさを単位としてそのいくつかで大きさが比べられることについて理解し、身のまわりにあるものの長さ、かさ、広さの大小をと捉えるなど、量の大きさについての豊かな感覚をもっている。 【行】【発】【テ】		
時 数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
3	119 く 122	ながさくらべ	①長さの意味、長さの比べ方を理解する。(直接比較)	・2本の鉛筆、2本のひも、はがきの縦と横の長さを直接比較で比べる。	・身のまわりにあるものの長さに関心をもち、比べようとしている。		・ものの長さを直接比較によって比べることができる。	・長さの量の意味を理解している。
			②長さの比べ方を理解する。(間接比較)	・額縁の縦と横のように、直接比較できないものの長さをテープなどに写し取って、間接比較で比べる。 ・ワゴンなどが教室の入り口を通るかどうか、テープを用いて調べる。		・直接比べられない場合の長さについて、媒介物を用いて間接的に比べるなど、比べ方を考えている。	・ものの長さを間接比較によって比べることができる。	

			③長さの任意単位による測定について理解する。	・鉛筆や消しゴムを単位として、そのいくつかで長さを比べる。		・ものの長さについて、ある大きさを単位としてそのいくつかで数値化するなど、比べ方を考えている。	・ものの長さについて、ある大きさを単位としてそのいくつかで数値化して比べることができる。	・身のまわりにあるものの長さの大小を捉えるなど、長さについての豊かな感覚をもっている。
3	123 ∩ 125	水やはこのかさくらべ	④水のかさの意味、直接比較、間接比較によるかさの比べ方を理解する。	・一方の入れ物の水を他方の入れ物に移した結果や、同じ入れ物に移した水面の高さで、水のかさを比べる。	・身のまわりにあるもののかさに関心を持ち、比べようとしている。	・もののかさについて、直接比べたり、媒介物を用いて間接的に比べたりするなど、比べ方を考えている。	・もののかさについて、直接比較、間接比較によって比べることができる。	・かさの量の意味を理解している。
			⑤水のかさの任意単位による測定について理解する。	・コップなどの容器を単位として、そのいくつかでかさを比べる。		・もののかさについて、ある大きさを単位としてそのいくつかで数値化するなど、比べ方を考えている。	・もののかさについて、ある大きさを単位としてそのいくつかで数値化して比べることができる。	・身のまわりの容器に入る水のかさの大小を捉えるなど、かさについての豊かな感覚をもっている。
			⑥箱の大きさの直接比較、任意単位による測定について理解する。	・箱の大きさを、どちらかの箱をもう一方に入れられるかや、中に同じ大きさの小箱が何個入れられるかで比べる。		・箱の大きさについて、直接比べたり、ある大きさを単位としてそのいくつかで数値化したりするなど、比べ方を考えている。		
2	126 ∩ 127	ひろさくらべ	⑦⑧広さの意味、直接比較、任意単位による測定について理解する。	・レジャーシートを直接重ねて広さを比べる。 ・方眼を使った陣取り遊びで、同じ広さのいくつかで広さを比べる。	・身のまわりにあるものの広さに関心を持ち、比べようとしている。	・広さの比べ方を考えている。	・もの広さについて、直接比較や、ある大きさを単位としてそのいくつかで数値化して比べることができる。	・広さの量の意味を理解している。 ・身のまわりの広さの大小を捉えるなど、広さについての豊かな感覚をもっている。
			[「いくつかぶん」が見えるかな] ・さまざまな量が任意単位によって表すことができるという共通性に気づく。					
—	128	たしかめもんだい⑫	・「くらべかた」の問題					

		ねらい	学習活動	評価規準			
				関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
☆	10こをならべよう (1時間) p. 129	○1つの数をいくつかの数の和として、式で表すことをとおして、数の感覚を豊かにする。	・10個のおはじきの並べ方をさまざまな式で表したり、表された式から並べ方を考えたりする。		・10個のおはじきの並べ方を考え、式に表している。 【行】【ノ】		・10をいくつかの数の和としてみるなど、数についての豊かな感覚をもっている。 【発】【ノ】

		目 標	評価規準			
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
15	大きなかず (11時間)	○10のまとまりの個数と端数がいくつと表すことができることに気づき、120程度までの数を数えることができる。A(1)オキ ○120程度までの数のよみ方、表し方、100までの数の位取りについて理解する。A(1)オカ ○120程度までの数の大小、順序、系列について理解する。また、数直線の上に数を表すことができる。A(1)ウ ○簡単な場合の2位数などの加法、減法の計算のしかたを考えることができる。A(2)ウ	・ものの個数を、いくつかずつまとめて数えるなど、正しく数えたり表したりしようとしている。 【行】【発】	・10のまとまりを作って数えることをとおして、10を単位とした数の表し方を考えている。また、100までの数表から、数の並び方に関するきまりを見いだしている。 【行】【発】【ノ】 支援:実際に具体物を10個ずつ袋や箱に入れながら数える活動をおおして、10のまとまりを作ると数がわかりやすいことが感じられるようにする。 ・簡単な場合について、2位数などの加法、減法の計算のしかたを考えている。 【発】【ノ】	・120程度までの数について、よんだり表したりすることができる。また、数の大小や順序を考えることによって、数の系列を作ったり、数直線の上に表したりすることができる。 【ノ】【テ】	・2位数の表し方と、簡単な場合の3位数の表し方について理解している。また、1つの数をほかの数の和や差としてみたり、具体物をまとめて数えたり等分したりするなど、数の構成についての豊かな感覚をもっている。 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
9	130 ～ 141	(100より大きいかず)	①②100未満の数の数え方、よみ方、表し方、十進位取り記数法の基礎(一の位、十の位)を理解する。	・あさがおの種の数を10のまとまりを作って数えることをとおして、100未満の数のよみ方、表し方を知る。 ・十の位、一の位について知る。	・具体物の個数を進んで数えたりよんだり表したりしようとしている。	・100までの数の数え方を、10のまとまりの個数と端数がいくつとどのように工夫している。		・100までの数について、数え方、よみ方、表し方を理解している。 ・「十のくらい」「一のくらい」の意味を理解している。
			③④100未満の数の構成、大小を理解する。	・ブロックを並べる活動などとおして、2位数を10がいくつと1がいくつと捉える。 ・100までの数の大小を比較する。			・100までの数について、数えたりよんだり表したりすることができる。	・2位数を10がいくつと1がいくつと捉えることをとおして、数の構成を理解している。 ・100までの数について、数の大小を理解している。
			⑤100の数え方、よみ方、書き方を理解する。	・ビーズの数を数えることをとおして、10を10個集めた数を「百」と言い、100と書くことや、99より1大きい数であることを知る。				・百について知り、100の数え方、よみ方、書き方を理解している。
			⑥100以下の数の順序、系列を理解する。	・数直線を用いて、100までの数の順序、系列を考える。 ・「38は35より3大きい数です」を「35は38より～」と言いかえる。 ・1目盛りの大きさを変えた数直線で、空欄にあてはまる数を考える。			・数の系列を作ったり、数直線の上に表したりすることができる。	・100までの数について、順序、系列を理解している。
			⑦簡単な3位数の数え方、よみ方、表し方を理解する。	・色違いの花の数を数えることをとおして、100より大きい数の表し方を知る。	・100よりも多くある具体物の個数を進んで数えたりよんだり表したりしようとしている。			・100と15を合わせた数について、数え方、よみ方、表し方を理解している。
			⑧簡単な3位数の表し方、大小、順序、系列を理解する。	・120程度までの数の表し方、大小、順序、系列を考える。			・120程度までの数について、よんだり表したりすることができる。	・120程度までの数について、数え方、よみ方、表し方を理解している。 ・120程度までの数について、大小、順序、系列を理解している。
			⑨数表のきまりに気づき、数の感覚を豊かにする。 [さんすうメモ]* ・十の位の1つ左の位を百の位ということを知る。	・100までの数表を縦、横、斜めに見たときのきまりを見つける。	・100までの数表から、数の並び方に関するきまりを見いだしている。			・100までの数表の数の並び方について、縦、横、斜めに見るなど、数についての豊かな感覚をもっている。
2	142 ～ 143	たしざんとひきざん	⑩簡単な2位数どうしの加法、減法の計算ができる。	・30+20, 60-20のような、簡単な2位数どうしの加法、減法の計算のしかたを考える。		・簡単な2位数の加法、減法の計算のしかたを、10のまとまりに着目してブロックなどを用いて考えている。		
			⑪簡単な2位数と1位数の加法、減法の計算ができる。	・24+3, 36-4のような、簡単な2位数と1位数の加法、減法の計算のしかたを考える。		・簡単な2位数の計算のしかたを、数の構成をもとにブロックなどを用いて考えている。		

		目 標		評 価 規 準				
時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
16		なんじなんぷん (2時間)	○日常生活の中で時計を見て、何時、何時半、何時何分をよんだり、用いたりできる。B(2)		・日常生活の中で時刻に関心を持ち、進んで用いようとしている。 【行】【発】	・時計の長針、短針を見て、時刻のよみ方を考えている。 【行】【発】 支援：模型時計を動かしながら考えられるようにする。	・時計の長針、短針を見て、時刻をよむことができる。 【行】【テ】	・時計の長針、短針の役割について理解している。 【発】【テ】
2	144 ～ 145		①②時計のしくみを理解し、時刻をよむことができる。(何時何分)	・生活に関連させて、何時何分のような時刻をよんだり、用いたりする。 ・時計の目盛りのつき方などのしくみを調べる。	・日常生活の中で時刻に関心を持ち、進んで用いようとしている。	・時計の長針、短針を見て、時刻のよみ方を考えている。	・時計の長針、短針を見て、時刻(何時何分)をよむことができる。	・時計の長針、短針の役割について理解している。

—	146	たしかめもんだい⑬	・「大きなかず」「なんじなんぶん」の問題
---	-----	-----------	----------------------

		ねらい	学習活動	評価規準			
☆ おいぬきゲーム (1時間) p. 147		○十何一1位数の計算に習熟する。	・減法の計算カードを使ったすごろくゲームをとおして、減法の計算練習をする。	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
				・減法の計算カードを使ったすごろくゲームに進んで取り組んでいる。 【行】【発】		・十何一1位数の減法計算が確実にできる。 【行】【発】	

		目 標	評価規準			
17 どんなしきになるかな (4時間)		○順序数を集合数に置きかえて考える場合の加法や減法の意味を知り、問題を解決することができる。A(2)ア、D(1) ○求大、求小の場面の加法や減法の意味を知り、問題を解決することができる。A(2)ア、D(1)	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
			・順序数や求大、求小の場面で、ブロックを操作したり、図に表したりして場面を捉えようとしている。 【行】【発】	・順序数や求大、求小の場面を、ブロックや図などを用いて考えている。 【行】【発】【ノ】 支援：実際に子どもを並ばせるなど、具体的な場面を捉えて考えられるようにする。	・順序数や求大、求小の場面を式に表すことができる。 【ノ】【テ】	・順序数や求大、求小の場面で加法や減法が用いられる場合を理解している。 【発】【ノ】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
4	148 ～ 151	(じゅんばんのかずのけいさん) (ちがいをかんがえるけいさん)	①順序数の加法の意味、計算のしかたを理解する。	・ある子どもの位置が前から5番めで、更に後ろに3人いるとき全部で何人いるかを、図などをかいて考え、加法を適用して解決する。		・順序数の加法が用いられる場面で、ブロックや図などを用いて集合数に置きかえて考えている。		・順序数の加法が用いられる場合を理解している。
			②順序数の減法の意味、計算のしかたを理解する。	・全部で9人並んでいて、ある子どもの位置が前から4番めるとき、後ろに何人いるかを、図などをかいて考え、減法を適用して解決する。	・順序数の減法が用いられる場面を、ブロックを操作したり、図に表したりして減法の式に表そうとしている。	・順序数の減法の場面を式に表すことができる。		
			③求大の場面の加法の意味、計算のしかたを理解する。	・妹の拾ったどんぐりの数が、兄より何個多いかがわかっている問題で、図などをかいて考え、加法を適用して解決する。(求大)	・求大の場面で、ブロックや図などを用いて考えている。	・求大の場面で加法が用いられる場合を理解している。		
			④求小の場面の減法の意味、計算のしかたを理解する。	・妹の食べた豆の数が、兄より何個少ないかがわかっている問題で、図などをかいて考え、減法を適用して解決する。(求小)	・求小の場面を、ブロックを操作したり、図に表したりして減法の式に表そうとしている。	・求小の場面を減法の式に表すことができる。		

		目 標	評価規準			
18 かたちづくり (5時間)		○折り紙やストローを用いているいろいろな図形を構成したり、分解したりすることができる。C(1)ア ○図形を移動したり、辺や頂点に着目して図形を構成したりすることをとおして、図形についての基礎的な経験をする。C(1)ア	関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
			・折り紙やストローなどを並べたり、点を線で結んだりして、いろいろなものの形を作ろうとしている。 【行】【発】	・折り紙などをずらしたり回したり裏返したりして、いろいろな形を構成・分解することを考えている。 【行】【発】	・折り紙やストローなどを用いて、いろいろなものの形を作ることができる。 【行】【ノ】【テ】 支援：折り紙やストローを並べて作った形の例を示し、それをもとに考えられるようにする。	・身のまわりにあるものの形について、観察したり構成・分解したりする活動をとおして、図形についての理解の基礎となる経験を豊かにしている。 【行】【発】【テ】

時数	頁	小単元	ねらい	学習活動	毎時の具体的な評価規準			
					関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
5	152 ～ 155		①②折り紙を使って形の構成・分解の活動をし、平面図形に関心をもつ。	・三角形に切った折り紙を組み合わせて、シルエットに合わせて形を作ったり、いろいろな形を作ったりする。	・三角形の折り紙を用いて、いろいろなものの形を構成し、絵を作ろうとしている。		・三角形の折り紙を組み合わせて、シルエットに合わせて形を構成することができる。	・折り紙を使って形を構成・分解する活動をとおして、図形についての理解の基礎となる経験を豊かにしている。
			③平面図形の移動の基本操作（ずらす、回転する、裏返す）ができる。	・三角形の折り紙4枚でできた形を、1枚だけ動かしてほかの形に変える活動をとおして、平面図形の基本操作（ずらす、回転する、裏返す）を行う。		・三角形の折り紙4枚でできた形を、1枚だけずらしたり回したり裏返したりして、いろいろな形を構成・分解することを考えている。	・図形の移動についての理解の基礎となる経験を豊かにしている。	
			④平面図形の辺に関わる基礎的な経験をする。 [みのまわりでかたちを見つけよう] ・身のまわりから三角形や四角形のものを探す。	・ストローを使っていろいろな形を構成する。	・ストローを用いて、いろいろなものの形を作ろうとしている。		・さんかくやしかくを組み合わせ、いろいろなものの形を作ることができる。	
			⑤平面図形の点と辺に関わる基礎的な経験をする。	・格子点を線をつないでいろいろな形を構成する。	・点を線をつないで、いろいろなものの形を作ろうとしている。			・図形の構成要素についての理解の基礎となる経験を豊かにしている。
—	156 ～ 157	たしかめもんだい⑭	・「どんなしきになるかな」「かたちづくり」の問題					

	ねらい	学習活動	評価規準			
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
☆ おなじかずずつにわけよう (1時間) p. 158	○具体物を等分する活動をとおして、数についての感覚を豊かにする。	・12個のおはじきを2個ずつに分けたり、2人で同じ数ずつに分けて、それを式で表す。		・具体物をいくつかずつまとめて数えたり等分したりするしかたを考え、式に表している。 【行】【ノ】		・具体物をまとめて数えたり等分したりするなど、数についての豊かな感覚をもっている。 【行】【発】【ノ】

	ねらい	学習活動	評価規準			
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
☆ どこにあるかな (1時間) p. 159	○2方向からものの位置を表すことができる。	・ロッカーのイラストを見て、下から○番め、左から○番めのように2方向から場所を表す。	・ものの位置を、上下、左右、前後などの言葉と数を用いて表すことのよさに気づいている。 【行】【発】		・上下、左右、前後などの言葉と数を正しく用いて、平面上のものの2方向からの位置を言い表すことができる。 【発】【ノ】	

	ねらい	学習活動	評価規準
--	-----	------	------

			関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
<p>□ 1年のまとめ</p> <p>(5時間)</p> <p>p. 160～164</p>	<p>○1学年の学習内容のまとめをする。</p> <p>[かずのせんでかながえよう]* ・数直線をもとに、120を超える数の系列や構成を考える。</p> <p>[大きなかずのたしざん]* ・$34+20$の答えの求め方を考える。</p> <p>[いちばんおおく入るのはどれかな] ・3つの入れ物の容量を比較する場面で、かさの大小について推移関係が成り立つことを具体的に捉える。</p> <p>[1から9までたすと] ・1から9までの和を工夫して求める。</p>	<p>・数と計算、長さ・広さ・かさの比べ方、時刻、形についての問題を解決する。</p>			<p>・1学年で学習した内容の問題を解決することができる。</p>	<p>・1学年の学習内容を理解している。</p>

<p>☆ あたらしい1年生がくるよ</p> <p>p. 165～166</p>	<p>○教室の場面絵を見て、1学年で学習した内容についての問題を作り、答えの求め方を考える。</p>
---	--

<p>☆ アスレチックすごろく</p> <p>p. 167～168</p>	<p>○100までの数が並んだすごろくゲームをする。</p>
---------------------------------------	--------------------------------

※「学習をふり返ろう」などは、学校行事などを勘案して、予備時間を使って時間配当してください。